

令和7年度 宮崎公立大学同窓会 凌雲なな会 12月議事録

[日 時] 令和7年度 12月29日(月)10:00 ~ 11:00

[会 場] オンライン開催

[出席者] 小林 黒木 染矢 熊本 桑原田 川端

[議 長] 戸高 [書 記] 加治屋

1. 事務局報告

- ・入試対応
- ・ななファン助成金、個別同窓会対応
- ・経費処理

2. 相談・報告事項

〈ななファン助成金の利用方法について〉

- ・学会に自身が参加する訳ではなく、学会を見に行く目的での申請があった。
→来年度以降の募集要項に明記するようにする。
→中身を変更済み。小林さん対応。

〈個別同窓会について〉

- ・個別同窓会の申し込みフォームが使用できなくなっている。
その他、申請までの流れについて話し合いたいです。
→現在、申請書のダウンロードページと申し込みページが別になっているので、それを1ページにまとめる。ページ内でも申請の手順の表記する。

〈特別会計について〉

- ・特別会計が現在21,237,344円あります。使い道についてご相談できればと思います。
→起業サポートなど、がんばる人を応援する制度。(審査基準が重要)
→宮崎は青島に力を入れている。投資という形で運用したい。
→宮崎に拠点をおくことで、地域活性化にもつながるのではないか。
→維持費がかかるのではないか
→不動産の取得リスクを回避するためにパートナーシップという方法があるのではないか
→同窓会の活性化につながることをしたい。同窓会が運営する場所を作りたい。
→大型のイベントを仕込みながら同窓生の数を確保したい
→就活の拠点、学会の拠点として、都市部に部屋を借りる
→セミナーの開催(多様な就職先があるので、卒業生同士の繋がりが増える仕掛けを作りたい)
→金融商品を買って、資産運用をする
→「想い」の循環を作りたい
→公立大学の建物が劣化してきていると感じる。ここに予算を投じても良いのではないか
→どんどん名前をPRしていく
→学生へのリターンとして、朝食を提供する
→大学側が力を入れているのは、新学部、防災にかんすること
→学生によりすぎない、卒業生向けの支援
→卒業生が登録して、色々な所を利用できるようにすると良いのではないか。
→どこかの企業と連携する。
→LINEグループへの登録を必須

→色々な案がでたが、「誰向けに」「何の為に」を明確にする必要がある。
 特別会計はどのように使われるものなのか、在校生向けなのか卒業生向けなのか
 解決したい課題を明確にする。
 →来月もう1度方向性について話し合う

<大学版ふるさと納税の開始の共有>

- ・教育機関に特化したふるさと納税プラットフォーム「SCSKのふるさと納税」
 を利用して大学版ふるさと納税が始まったとのこと。役員のみなさまにも共有です。
<https://www.miyazaki-mu.ac.jp/university/organization/donation/furusato.html>

3.今後の事務局対応

- ・入試学生への対応

時間外活動手当について

役員氏名	活動内容	活動日時	活動 時間	時間 累計	支給額 (累計 h x 777)

◆次回役員会開催予定 :場所、時間については 別途確認